

報道機関のお問い合わせ先：

山下 絢子 +81 3 5511 7572 または Ayako.Yamashita@morningstar.com
ステファニー・ホー +852 2973 4655 または Stephanie.Ho@morningstar.com
イモーゼン・ウォン +852 2973 4646 または Imogene.Wong@morningstar.com

即日発表**企業、ファンド、資産運用会社に関する持続可能性要因の新しい分析が、米国 Morningstar の各種プロダクトおよびサービスで利用可能に**

投資戦略および資産運用会社に対する「モーニングスター ESG コミットメントレベル」、および企業に対する「モーニングスター ESG リスクレーティング評価」は、投資家による ESG 投資の選択肢の比較や情報収集を強化する。

香港発、2021 年 5 月 13 日

大手独立系投資調査会社である米国 Morningstar(ナスダック: MORN)は、今週、環境・社会・ガバナンス (ESG) の二つの新しい評価ツールの提供を開始しました。投資戦略および資産運用会社に対する「[モーニングスター® ESG コミットメントレベル](#)」、企業に対する「[モーニングスター® ESG リスクレーティング評価](#)」が、米国 Morningstar が展開する代表的な投資分析プラットフォームである Morningstar DirectSM や個人投資家向けウェブサイト Morningstar.com[®]などで利用できるようになりました。

これらの新しい評価ツールは、投資を分かりやすく、かつ長期的な意思決定をサポートするように設計された、一連の米国 Morningstar 独自のレーティングに加わります。サステナブル投資に関する既存のレーティングには、ファンドに対する[モーニングスター® サステナビリティ・レーティング™](#)、[モーニングスター® ポートフォリオ・カーボン・リスク・スコア™](#)および[モーニングスター® ロー・カーボン・デジグネーション™](#)、さらに[モーニングスター・サステナブル・アトリビュートSM](#)、[モーニングスター・ポートフォリオ・インボルブメント・メトリックス](#)、議決権行使データが含まれます。

サステナビリティのマイケル・ジャンツィ最高経営責任者 (CEO) は次のように述べています。「あらゆるタイプの投資家は、サステナブル投資の選択肢に関する情報収集および重要な ESG リスクの理解のために助けを必要としています。引き続き、ESG のファンドレベルや企業レベルのデータや分析を米国 Morningstar のプラットフォーム全般に統合していくことによって、多面的な ESG 課題や異なるアプローチから生じるリスクや投資機会を明らかにし、投資家が情報に基づく決定を行なうことを支援します。」

米国 Morningstar は、ESG レーティング、調査およびデータで業界を代表する[サステナビリティクス社](#)を、2020 年 7 月に買収しました。これらの評価ツールの提供開始は、あらゆるタイプの投資家がすぐに利用できる、資産クラス全体でのサステナブル投資分析を行うことができるようにする両社の連合体の

能力を示すものとなります。米国 Morningstar の集計では、サステナブルファンドに投資された資産は、2021 年度第 1 四半期に全世界で 2 兆ドル近くに達し、過去 3 年間に堅調な成長を示しています。

投資戦略および資産運用会社に対するモーニングスター ESG コミットメントレベル

900 近いファンドおよび 70 を超える資産運用会社に対するモーニングスター ESG コミットメントレベルは、Morningstar Direct、Morningstar OfficeSM*、および Morningstar.com* のプレミアムメンバーの皆様にご利用可能となりました。今月中に、モーニングスター®アドバイザー・ワークステーションTM* およびモーニングスター®アナリスト・リサーチ・センターTM*でもご利用可能となります。（現在、*のついたソリューションはインドを除くアジア地域では、ご利用いただけません）。

ESG コミットメントレベルの評価は、投資戦略や資産運用会社がどの程度 ESG 要因をそれぞれの投資プロセスに取り入れているかについて、米国 Morningstar のマネジャー・リサーチのアナリストによる定性分析を反映するものです。評価は、「低い」、「標準」、「高い」、「リーダー」の 4 段階で行われます。資産運用会社または投資戦略の ESG に関するリソース、ポリシー、専門知識から、シンプルな評価を導き出します。

米国 Morningstar のマネジャー・リサーチ・チームは、2020 年 11 月に発表された[評価開始時点のレポート](#)に加えて、本日、現時点での 251 のファンドおよび 31 の資産運用会社の ESG コミットメントレベルを発表しました。[今回の評価](#)での主要なポイントは以下のとおりです。

- 評価を行った 140 の投資戦略のうち、ESG コミットメントレベルの評価は、「リーダー」が 1 つのみ、「高い」が 19、「標準」が 59、「低い」が 61 でした。この分布は ESG に焦点を当てていない戦略に対してのサンプルバイアスが反映されたものです。
- 評価を行った 31 の資産運用会社のうち、ESG コミットメントレベルの評価は、最高位の「リーダー」がオーストラリアの Affirmative Investment Management の 1 社のみ、Amundi、BNP Paribas Asset Management、HSBC Global Asset Management、Jupiter、および LGIM の 5 社が「高い」を獲得しました。
- ESG コミットメントレベルが「標準」と評価された資産運用会社が最も多く、Allianz Global Investors、Invesco、JPMorgan、State Street、および T. Rowe Price などの 13 社でした。「低い」と評価されたのは、Franklin Templeton、Janus Henderson、Mellon Investments、および VanEck などの 12 社です。

このレポートでは、米国 Morningstar のアナリストは、資産運用会社にとってのベストプラクティスとはどのようなものと考えられるかについても要点を述べています。業界の進化にとまどない、アナリストは、哲学およびプロセス、リソース、およびアクティブ・オーナーシップの各項目に関して、最も強固なアプローチに焦点を当てています。

アナリストは、ファンドのモーニングスター・アナリスト・レーティングTM が付与された調査対象の投資戦略および資産運用会社に対して、ESG コミットメントレベルのための評価を通常的分析業務の一環として、引き続き拡大していきます。

ESG コミットメントレベルについては、[こちら](#)をご覧ください。また、ESG コミットメントレベルの調査分析手法については、[こちら](#)をご覧ください。

企業に対するモーニングスター ESG リスクレーティング評価

米国 Morningstar は、本日、さらに、企業に対するモーニングスターESG リスクレーティング評価を導入しました。これにより投資家は、全セクターで企業に付与された全体的な ESG リスクを容易に比較および把握することが可能となります。このたび、Morningstar Direct、Morningstar OfficeSM*、モーニングスター・アドバイザー・ワークステーション*で、また、Morningstar.com*のプレミアムメンバーの皆様に、13,000 社に関して利用可能となりました。（現在、*のついたソリューションはインドを除くアジア地域では、ご利用いただけません）。今月中には、米国 Morningstar の株式データ・フィードでもご利用いただけるようになります。

企業に対するモーニングスターESG リスクレーティング評価は、[サステナビリティの ESG リスクレーティング](#)を視覚的に表したもので、セクター特有の重要な ESG リスクにどの程度さらされているか、また、企業がそれらのリスクをどの程度管理しているかを測定します。この明確なアプローチは、管理済みリスクとエクスポージャーの概念を組み合わせることで、セクターにかかわらず ESG リスクの絶対的な評価を導き出します。

この新しい企業レベルの評価では、2016 年に市場初となるファンドレベルのサステナビリティ・レーティングとして米国 Morningstar とサステナビリティが導入した、ファンドに対するモーニングスター・サステナビリティ・レーティングと同様に、分かりやすく比較可能なグローブ（地球）のアイコンが使用されています。ごくわずかなリスク（5 グローブ、0 - 9.99）、低リスク（4 グローブ、10 - 19.99）、中程度のリスク（3 グローブ、20 - 29.99）、高リスク（2 グローブ、30 - 39.99）、深刻なリスク（1 グローブ、40 以上）と、グローブが 1 つから 5 つまでの 5 段階評価を行います。

企業に対するモーニングスターESG リスクレーティング評価は、最近の「サステナビリティの ESG リスク・リサーチを正式なインプットとして統合」（[integration of Sustainalytics' ESG risk research as a formal input](#)）に基づき、米国 Morningstar の株式リサーチの手法の中に組み込まれました。企業に対するモーニングスターESG リスクレーティング評価についての詳細は[こちら](#)、よくある質問は[こちら](#)をご参照ください。

米国 Morningstar について

米国 Morningstar は、北米、欧州、オーストラリア、およびアジアで事業を展開する独立系大手投資調査会社です。米国 Morningstar は、個人投資家、ファイナンシャル・アドバイザー、資産運用会社およびアセットオーナー、退職プランのプロバイダーやスポンサー、および債券市場やプライベート資本市場の機関投資家の皆様に、多岐にわたる商品やサービスを提供しています。商品やサービスには、資産運用会社およびアセットオーナー、上場企業、プライベート資本市場、債券など幅広い投資対象を網羅するデータや調査・分析、リアルタイムで配信する世界のマーケットデータなどがあります。また、投資アドバイザーを専門とする子会社を通じて資産運用サービスも手掛け、2021 年 3 月 31 日現在の助言・運用資産残高はおよそ 2,440 億ドルに上ります。米国 Morningstar は、世界 29 カ国に事業拠点を展開しています。米国 Morningstar の更なる情報は、www.morningstar.com/company をご覧ください。また、ツイッターのアカウントは@MorningstarInc です。

###

©2021 Morningstar, Inc. All Rights Reserved.

MORN-R